

夢City 21

特集1

つる・夢・未来

目を凝らすと

この大自然の中で

ひとつもいきものも懸命に

その命の力を

燃やしているのが見えてきます

本当に大切なのは

大自然の中で生きるいきものたちの知恵

都留市の未来ビジョンは

私たちの夢見る力がつくりあげていくもの

知的で元気なこの街の

明日はもっと輝いています

ムササビ



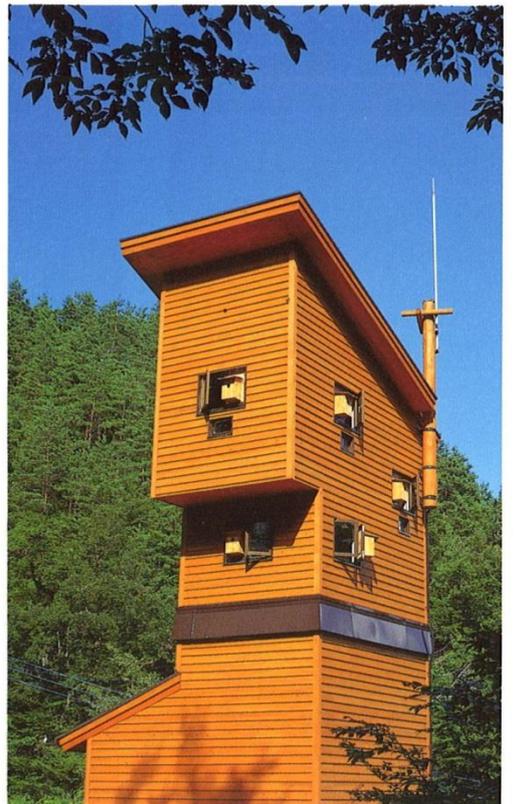
ニホンリス

感動を呼ぶ自然回帰線

都留いきものふれあいの里



ヒメネズミ



ムササビタワー

中央自動車道都留インターチェンジから車で一〇分。都留市大幡に「都留いきものふれあいの里」があります。大幡川沿いの駐車場に車を止めて、案内板で自分のいる場所を確認したら、さくらんぼの道をまっすぐ進んでください。やがてネイチャーセンターのアースカラーの建物が見えてきます。

このいきものふれあいの里は、都留の自然を生かした文字通りいきものとのふれあいの場所。ネイチャーセンターを中心として「自然観察路」が各「サテライト」を結んで五つに伸びています。

森のサテライトや川のサテライト、林のサテライト。サテライトの中でじっと待っていると、自然のままに生き生きと活動している小さな動物たちに出会えるかもしれません。

例えば森のサテライトの中心は、一本の大きな木をイメージした形のムササビタワー。大木が大好きなムササビの生態に合わせて、この建物の壁にはいくつもの木の洞(うろ)を模した巣箱が取り付けられています。森の木を伝いながら、かわいいムササビがこの巣箱目掛けて飛んでくる姿を観察できるかもしれません。

アオバズク



ヤマセミ



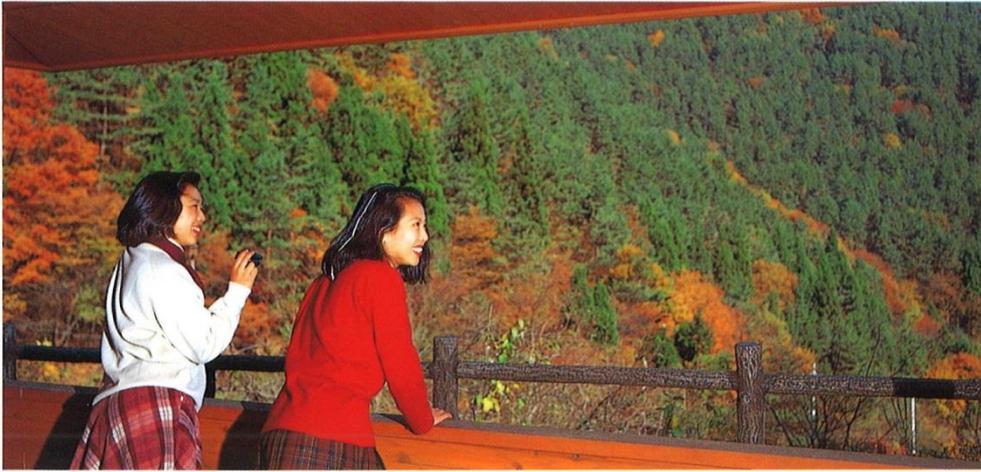
アカゲラ



また、川のサテライトでは、春にはヒキガエル、秋にはトンボが産卵にやって来る姿と出会えるでしょう。小鳥たちが水浴びに来る姿や、魚が素早く川をのぼる姿とも出会えることでしょう。

三つのサテライトでのいきものたちとの出会いのシーンは、実はネイチャーセンター内のビデオモニターでも見ることができるようになっています。また、実際に屋外に設置されているテレビモニターを通して、リアルタイムにいきもの生態を見ることがもできるのです。ここで観察のポイントをつかんどうえで、もう一度サテライトにチャレンジしてみたいかがでしょうか。

このネイチャーセンターは、施設の案内や観察用具の貸し出しも行っています。またレクチャールームや展示室コーナー、図書コーナーや観察アラスなども完備していますから、ご自由にお楽しみいただけます。



紅葉も美しいあずま屋からの眺め

Ikimono Fureai no Sato *Exhilarating return to nature.*



ヤマガラ

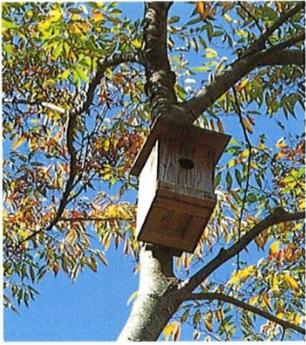
Ikimono Fureai no Sato (literally : Country for Communing with Living Creatures) is located in Ohata, Tsuru City, a 10-minute drive from the Tsuru Interchange on the Chuo Expressway. The countryside here is ideal for communing with the wildlife that inhabits the unspoiled nature of Tsuru. Spreading out from the Nature Center are five Nature Observation Promenades leading to satellite stations. Wait quietly in the Grove Satellite, River Satellite or Forest Satellite, and observe the activity of small animals in their natural surroundings.

最後に、四季折々に楽しめるかわいい仲間たちの名前を紹介しておきましょう。
春は、モンシロチョウやウスバシロチョウのかわいらしい姿や、シジュウカラ、オオルリの子育てに忙しそうなお姿が見られます。タンポポやマルバスマイレの花々もカレンな姿を見せてくれます。夏は、林道を飛ぶクジャクチョウやヒヨモンチョウの姿が華麗です。ホタルブクロやオオハギボウシなどの花々や、ヤマユリ、ネムの木の花も咲き始めます。

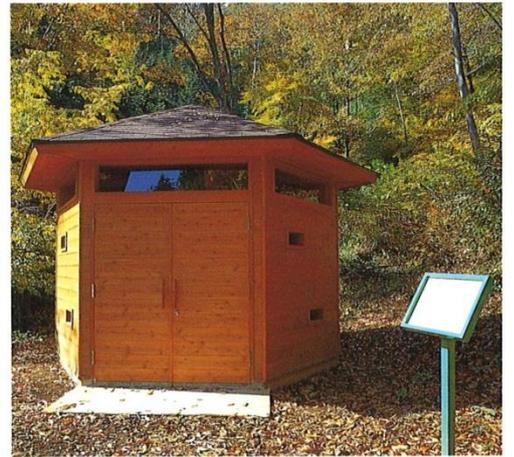
秋は、実りの秋、ドングリやクリの実がなると、それをめあてにリスや野ネズミたちが冬に備えてせっせと活動を始めます。イロハカエデの紅葉の燃えるような美しさとも出会えます。冬は、木々の葉も落ち寂しい季節のようにも思えますが、実は観察には最適なシーズンでもあります。シジュウカラやヤマガラ、エナガなどが元気に飛び回る姿と出会えるでしょう。また、ジョウビタキなどの冬鳥の姿も見られることでしょう。



野鳥観察もできる



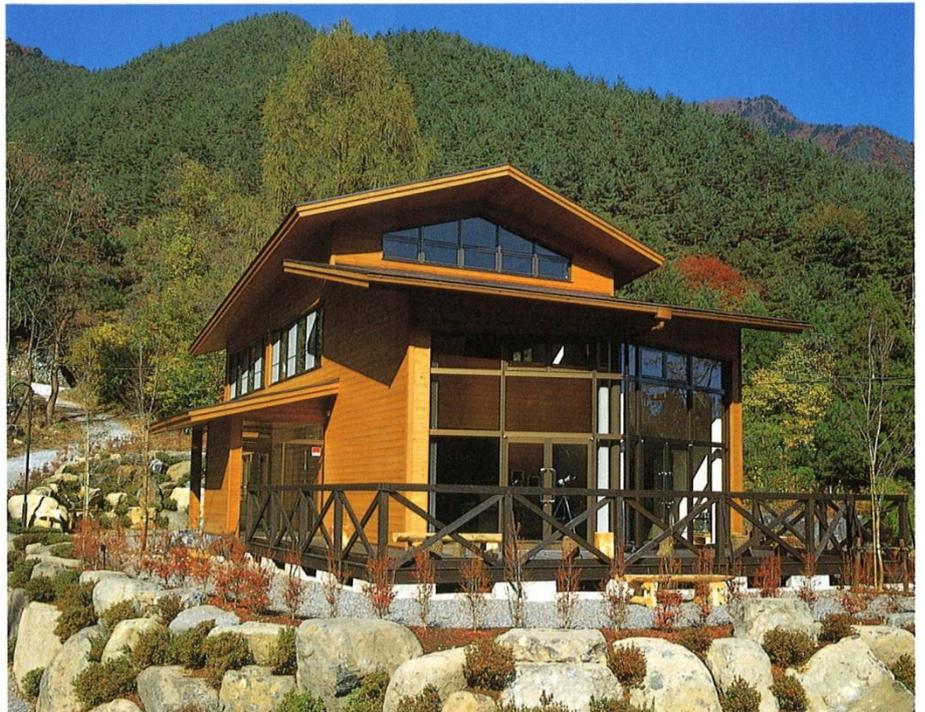
あずま屋



観察小屋



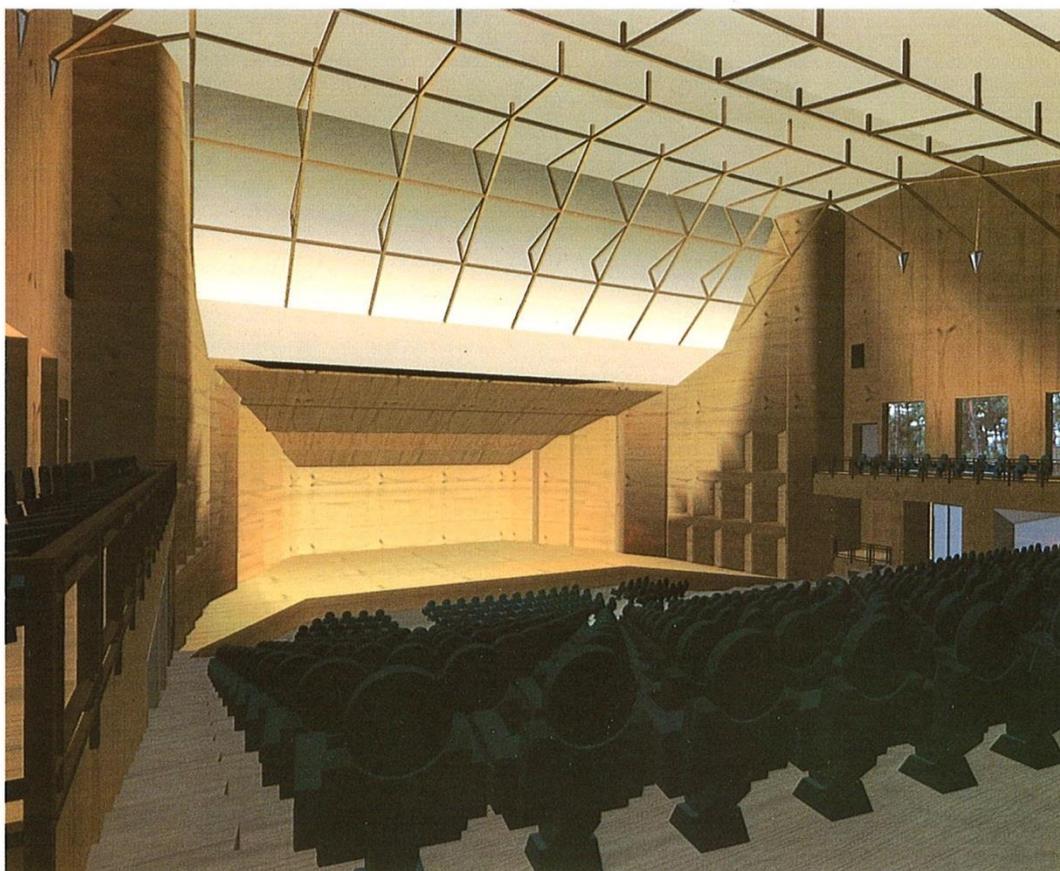
森のサテライト どんぐりの道



ネイチャーセンター

城下町文化の新拠点

都留市文化ホール



都留市文化ホール 大ホール 完成予想図

Cultural Hall of Tsuru City

New base for a castle town culture

Construction of a new cultural base for Tsuru in keeping with the new age is now on the drawing board. As a special city construction project, a cultural hall will be built as part of the Forest Art and Culture Park Project.

都留市の中心街谷村は、古くから城下町として栄え、甲府につぐ政治・文化の中心地として発展してきました。「甲州谷村城絵図」などの古地図を見ると、当時の城下町の様子うかがえます。天保・嘉永年間には教諭所や興譲館と呼ばれる教育機関も生まれ、この頃から教育・文化を尊重する姿勢が打ち出されていたことがわかります。その気風は現在も

都留文科大学や「SANTY・キャンパスタウン都留」構想などを通して受け継がれています。さて、その都留市に、新時代にふさわしい新しいもうひとつの文化拠点が生まれる計画が着々と進んでいます。それは「森の芸術・文化公園建設事業」としてまちづくり特別対策事業」に採択された「都留市文化ホール」の建設です。

世界のクラシック音楽界ですばらしい活躍をしている山梨県出身のピアニスト、中村絃子さんにもアドバイスをいただくなどして開館へ向けて具体的な準備段階に入っています。この文化ホールは、客席数八三二の大ホールに加え、小ホールは三〇八席の電動可動席を持つ本格的なホールで、コンサートだけでなく演劇やミュージカルにも適した設計がな



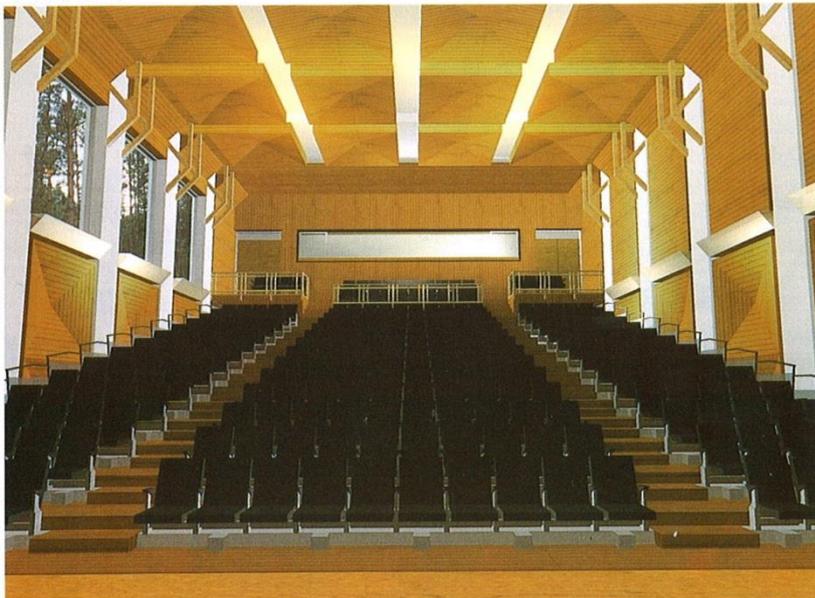
都留市文化ホール 完成予想図(平面図)



都留市文化ホール 完成予想図

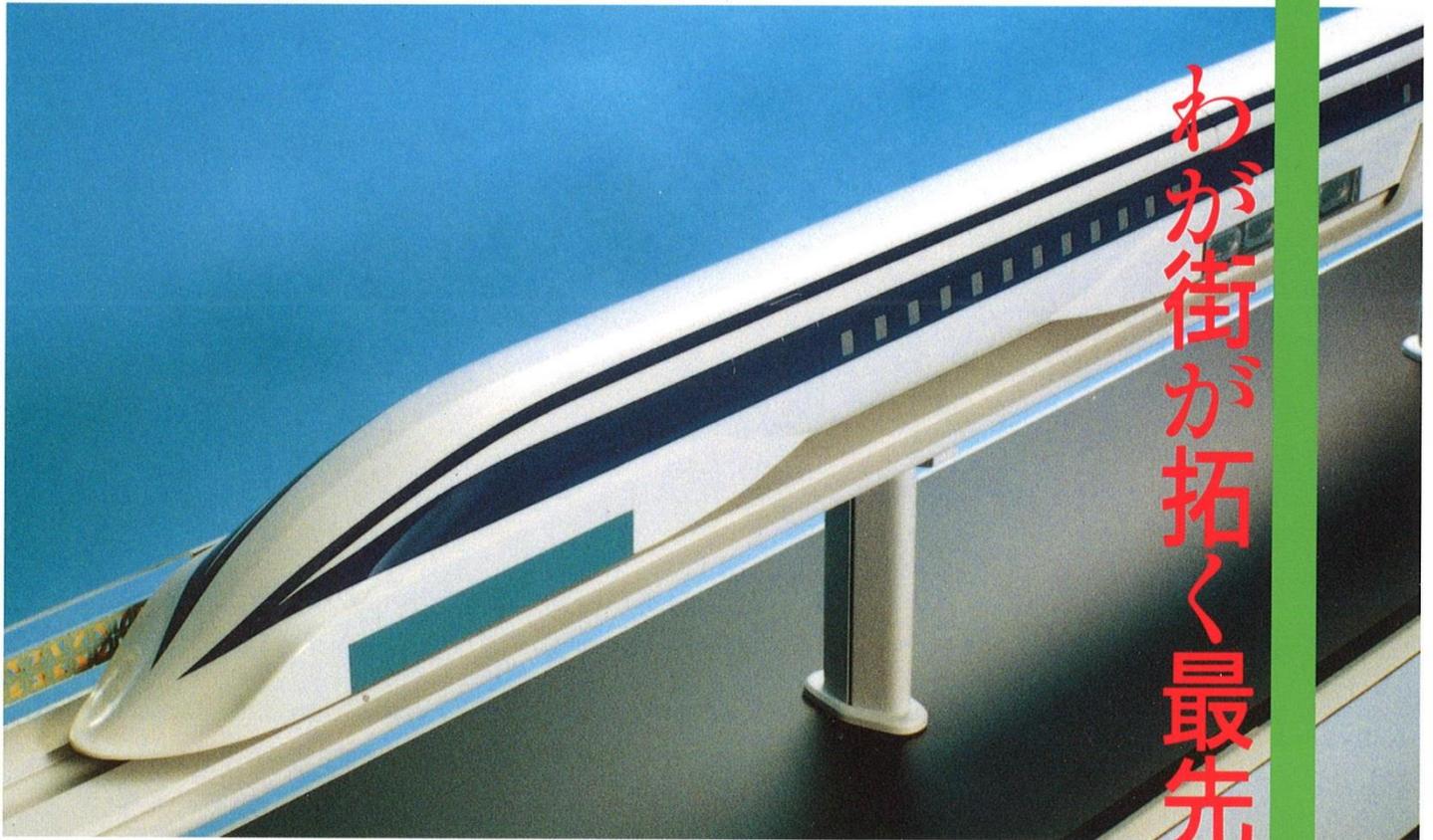
写真

コーラスグループ



都留市文化ホール 小ホール 完成予想図

されているので、市民の皆さんの多様なニーズに十分応えることのできる施設となります。ママさんコーラスや市民合唱団のコンサートが、このすてきなホールで開かれる日ももうすぐそこまで近づいています。

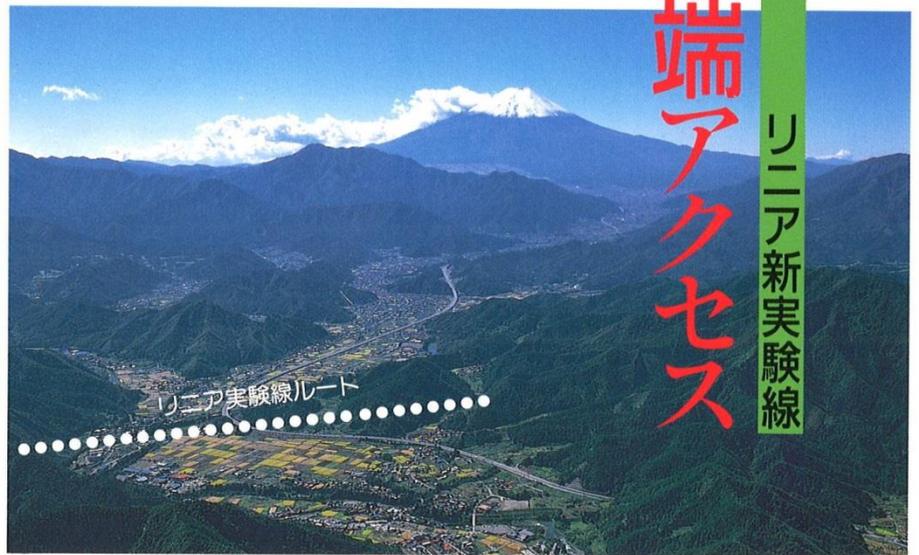


わが街が拓く最先端アクセス

リニア新実験線



リニア朝日トンネルの貫通



Linear motor car test track Futuristic mass-transit system to pass through Tsuru

A test track for linear motor cars, expected to be an important form of mass transit in the 21st century, will soon be opened in Yamanashi Prefecture, with the completion of a tunnel near Tsuru. At speeds of up to 500 km/h, passengers will be whisked from Tokyo to Osaka in just one hour, passing Tsuru immediately after the first tunnel out of Tokyo and catching their first sight of Mount Fuji.

二十一世紀交通網の主流となる山梨リニアモーターカー実験線も、無事に本市部のトンネルも開通してよいよその計画実現の日が近づいてきました。時速五百キロで走るリニアモーターカーの時代になると、東京と大阪をたったの一時間で結んでしまいます。東京から出発して初めてのトンネルを抜けた場所が私たちの街。それは富士山が初めて見える街でもあります。リニアと富士の街として、リニアに乗る世界中の乗客の皆さんに、美しい都留の街を記憶していただけるに違いありません。

グリーン&グリーンでフアインズン生活

サン地開発



サン地開発(平栗地区)

“Sanchi” land development

Wonderful life surrounded by greenery and clean air

Eighty-five percent of Tsuru City is made up of mountains, and in the 21st century this irreplaceable feature will stand out even more strongly. The term “Three San” refers to the Japanese reading of the Chinese character for mountain, the “sun” that shines above us, and the “san” in industry (sangyo). These are the key words for Tsuru’s development. The effective use of mountains, preservation of the natural environment, and the development of industries are prerequisites for Tsuru’s prosperity in the 21st century. To achieve affluence while protecting nature and the forests, Three San land development is an important step towards achieving harmonious coexistence with nature.

全面積の八五%が山地である都留市。二十一世紀にはこのことがかけがえのない特色として今よりずっと引き彫りされることであろう。サン地開発のサンは、山地の山、自然を表す太陽のSUN、そして、産業の産を表しています。この三つのサンは、いずれも都留市発展のキーワードでもあります。山地の有効活用や自然環境の保全、産業の育成は、二十一世紀の都留市の発展のために欠かせない条件といっていでしょう。サン地開発の推進は、都留市の未来のための投資なのです。森林と自然を守りながら豊かな街づくりを推進するために、調和の取れた自然との共生関係をづくりあげていくステップとして、この開発は重要な意味を持つことでしょう。